

ぼくのたからもの

東部小・2 渡邊 建心

ぼくには、大切にしているたからものがあります。このたからものが、なくなってしまうたらともかなしい気持ちになります。これからしようかいするたからものが、これからもずっとそばにあれば、ぼくはとてもしあわせです。

ぼくのたからものは、三つあります。一つ目は、家ぞくです。ぼくは、家ぞくが大すきです。小さいころの思い出が、今もこのころにのこっています。そのころは、弟や妹もまだ生まれていなかったのので、子どもはぼく一人で、とてもあまえんぼうでした。

ぼくがおぼえている思い出は、家ぞくで東きようタワーに行ったことです。東きようタワーのつペンまでエレベーターのつていきました。今までのつたエレベーターの中でいちばん長かったけれど、家ぞくといっしょにのつたので、こわくありませんでした。そして、おみやげうり場では、東きようタワーのブロックがほしくて見ていたら、お父さんとお母さんが買ってくれました。ぼくのことをいつも見ている、喜ばせてくれる家ぞくです。それが、二才か三才ごろの思い出です。そのころから家ぞくがずっと大すきです。

それから、ぼくの大すきなしんかんせんを見るために、いろいろなどころにつれていってくれました。ぼくの大すきなものを見るために、家ぞくはいつもいっしょにいてくれます。

弟と妹が家ぞくになった今も、りよ行に行きます。しがけんやあ

わじしま、ふくおかけんやいずはんとうなど、たくさんの場しよに家ぞくと行きました。どのりよ行も、とてもさい高の時間でした。ぼくは家ぞくが大すきで、大切だと思います。おじいちゃん、おばあちゃんも大すきな家ぞくです。いつもいっしょにいてくれるからうれしいです。家ぞくがいるまい日は、とてもしあわせです。

二つ目のたからものは、学校の友だちです。ぼくは、友だちといっしょにあそんだり、話したりすることが大すきです。友だちがいると、まい日明るくすごすことができ、とても楽しいです。だから、学校も大すきなのです。

一年生のはじめのころは、ようちえんの友だちがべつの小学校にいつてしまったので、知らない子ばかりで友だちがいませんでした。一人だけ、ようちえんからの友だちがいたけれど、その子はべつのクラスで、とてもさみしかったし、きんちようしました。でも、みんながとてもやさしくて、今はたくさんの友だちがいます。みんなでなかよくあそんだりべん強したりする時間が、ぼくは大すきです。三つ目のたからものは、べん強道ぐです。なぜかというと、ぼくはべん強が大大大すきだからです。べん強につかう道ぐはどれも大切につかっています。なかでも、教科書がべん強につかうものなかでいちばんのたからものです。教科書には、ぼくの知らないことがたくさんのつています。新しいことをべん強したり、自分で考えたりすることがとても楽しいです。

ぼくは、ならいごとにも行っていきます。そろばんやスイミング、サッカーをならっています。どのならいごとでも大すきです。二年生になって、計算がはやい友だちがいて、ぼくももつと計算がはやくなりたいたいと思うようになりました。そのことをお母さんにそうだん

したら、

「そろばんをやってみたら。」

と、すすめてくれました。さいしよはきんちょうしたけれど、やってみると計算がどんどんはやくなっていきました。計算がはやくなると、べん強がもつと楽しくなります。計算がはやい友だちよりも、はやくできる日もありました。ぼくは、これからもそろばんをがんばって、かけ算やわり算の計算もはやくできるようにしたいです。

ぼくは、この3つのたからものがあるおかげで、まい日楽しくすごせています。ぼくのたからものを、これからもずっと大切にしていきたいです。